

9月は「つちうら認知症バリアフリー月間」です

今回は、市の方針と、認知症について知るための機会や、認知症の方・その家族を支える市の取り組みの一部をご紹介します。
問 高齢福祉課 (☎826-1111 内線2500)

認知症って、どういうもの？

認知症は、脳の病気や障害などのさまざまな原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。

年齢を重ねるほど、認知症になりやすくなります。

2020年現在で、国内の65歳以上の認知症の方は、約600万人と推計されていて、2025年には、約700万人(高齢者の約5人に1人)が認知症になると予測されています。高齢社会の日本では、認知症に向けた取り組みが、今後ますます重要になります。

9月21日は
「世界アルツハイマーデー」
9月は
「世界アルツハイマー月間」
「茨城県認知症を知る月間」

市では、今年度から9月を「つちうら認知症バリアフリー月間」として、認知症に関する正しい知識の普及啓発を重点的に取り組んでいきます。

▶▶ **認知症を正しく知って、考えて、対応していきましょう！**

🍊 月間中の啓発活動

● つちうらオレンジライトアップ

うら大屋根広場などが、オレンジ色にライトアップされます。ポスター掲示も行いますので、ぜひご覧ください。



●【#つちうらオレンジライトアップ2022】大作戦

ご自宅や団体でオレンジライトアップに参加し、Instagramに「#つちうらオレンジライトアップ2022」を付けて投稿してください。ホームページからダウンロードしたポスターを、カラー印刷して掲示していただくだけでも構いません。詳しくは、ホームページをご覧ください。
※投稿いただいた写真は、後日、ホームページなどに掲載する場合があります。



● 図書館(アルカス土浦館)3階 認知症関連図書の展示

認知症に関する基礎知識、当事者や介護者の手記、子ども向け絵本などを集めました。

🍊 本人・家族ミーティングを開催します

認知症の人やその家族などが交流する場、「本人・家族ミーティング」を、予約制で開催します。

認知症の人とその家族はもちろん、認知症であるか不安のある方、ケアマネジャーなど本人を支援をしている方も参加できます。

- ▶ 日時…9月22日(木) 午後2時～3時30分
場所…本庁舎内(場所は受付時にお知らせします)
申込方法…高齢福祉課に電話で
- ▶ 今回は都合が合わないという方や、市役所までの移動が難しい方も、次回開催の参考にしますので、ぜひご連絡ください。

🍊 認知症に関する相談窓口

- 地域包括支援センターうらら
- 地域包括支援センターかんだつ

担当地区：一中・三中・四中・六中地区 ☎824-0332
担当地区：二中・五中・都和・新治地区 ☎869-7035

🍊 認知症サポーターを養成しています

● 認知症サポーターって何？

認知症について正しい知識を持ち、認知症とともに暮らす本人や家族を温かく見守るのが、認知症サポーターです。地域に1人でも多く認知症サポーターがいることが、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの基盤となります。

認知症サポーターの証
「オレンジリング」▶



● 認知症サポーター養成講座

90分間の講座を受講することで、認知症サポーターになることができます。さらに知識を深めることができる、認知症サポーター限定の研修もあります。

- ▶ 9月15日(木)に市役所本庁舎で開催！
申込期限…9月12日(月)
申込方法…高齢福祉課に電話で
- ▶ 10月・11月にも開催を予定しています。
- ▶ 受講者が10人程度集まれば、「土浦市いきいき出前講座(No.32)」として別途開催できますので、お気軽にお問い合わせください。



「認知症バリアフリーシティつちうら」の実現を目指します！

『生活のあらゆる場面で、認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けていく上での障壁(=バリア)を減らす「認知症バリアフリー」の取り組みが推進されているまち、つちうら』の実現を目指して認知症施策を推進しています。